取扱説明書

取扱説明書番号　MA-Q011C

このたび弊社の時計をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。この取扱説明書はお手もとに保存のうえ必要に応じてご覧ください。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お取り扱いについて

⚠ 警告　防水性能について

＊防水時計の防水性能や機能を必ずご確認いただき、「取扱説明書」に従って正しくご使用ください。（誤った使用は、危険です。）

・非防水時計　：水滴のかかる場所でのご使用はできません。
・3気圧（3BAR）防水時計　：洗顔などはできますが、水中でのご使用はできません。
・5気圧（5BAR）防水時計　：水泳などはできますが、スキンダイビング（素潜り）などにはご使用できません。
・10/20気圧（10/20BAR）防水時計　：スキンダイビングなどはできますが、スキューバダイビングにはご使用できません。
・防水性能 …… 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図をご参照ください。

りゅうずはきちんと押し込んでご使用ください。

仕様	表示 ケース	表示 文字板	使用例 水のかかる程度の使用。（洗顔、雨等）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバダイビングに使用。	水滴がついた状態でのりゅうず操作
非防水	—	—	×	×	×	×	×
3気圧防水	WATER RESIST	WATER RESIST または無表示	○	×	×	×	×
5気圧防水	WATER RESIST	WATER RESIST (5BAR) または無表示	○	○	×	×	×
10気圧防水 20気圧防水	WATER RESIST	WATER RESIST (10/20BAR) または無表示	○	○	○	×	×

ご注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじロック式タイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活防水以上の機能を要する時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起すことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
・防水時計の場合、海水に浸した時や汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。（蛇口の水を直接かけないで、汲んだ水で洗ってください。）
・時計の内部にも多少の湿気がありますので、外気の温度が時計内部より低いときは、ガラス面がくもる場合があります。くもりが長時間消えない時は、お買い上げ店でご相談ください。
・一定の防水性能を保つため定期的に（2～3年を目安に）パッキンの交換をしてください。（お買い上げ店でご相談ください。）

⚠ 注意　携帯時の注意

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分にご注意ください。また、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

⚠ 注意　金属バンドのお取り扱いについて

・バンド中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　電池のお取り扱いについて

・幼児の手が届かない所に置いてください。
・万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師と相談して治療を受けてください。

⚠ 注意　電池交換について

・電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

⚠ 注意　かぶれについて

・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。また、皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起すことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。（時々はりゅうず通常位置のままでりゅうずを空回りさせてゴミ、汚れを落としてください。）
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐ医師に相談してください。
（かぶれの原因）金属、皮革アレルギー、時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。

〈時計のお手入れ方法〉

・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。

ご注意

温度について

・−10℃～＋60℃から外れた温度下では機能低下や、停止することがあります。
・直射日光にさらしたり、炎天下の車内など高温になる所に長時間置かないでください。故障の原因になったり、電池寿命が短くなります。
・屋外など、低温になる所に長時間置かないでください。故障の原因になったり電池寿命が短くなります。

磁気について

・磁石には近づけないでください。磁気健康機具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの止め具、携帯電話のイヤホン部など、磁気に近づけると正しい時刻を表示しません。この場合は磁気から離して時刻修正をし直してください。

静電気について

・クオーツウオッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示がずれることがありますのでご注意ください。

ショックについて

・床面に落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

化学薬品・ガス・水銀について

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について

・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管ください。

お買上げいただいた時計についている電池について

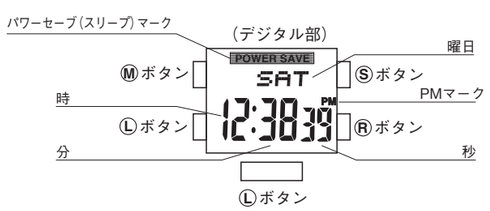
・この電池は、工場で組立時に機能、性能を確認する為のモニター用電池です。お買上後、所定の年数に満たないうちに寿命が切れてしまう事がありますのでご了承ください。

※電池は、保証外です。保証期間内であっても交換は有料となります。

製品仕様　P890

1. 時 間 精 度：平均月差±30秒以内（常温5℃～35℃）
2. 基 本 機 能：時 刻 表 示　時・分・秒（午前/午後または24時間制の切替表示）
　カレンダー　月・日・曜日（2039年12月31日までのフルオートカレンダー）
　アラーム1,2　時・分（午前/午後または24時間制の切替表示）
　時刻アラーム2個、時報
　ストップウオッチ　計測時間　100時間（99時間59分59秒）
　計測単位　1/100秒（60分未満）
　1秒（60分以上）
　計測機能　通常計測、積算計測、スプリット／ラップ計測
　メモリーコール　最新10個のスプリットタイム計測かラップ計測
　世 界 時 計　23都市名、時・分、サマータイム
3. 付 加 機 能：オートスリープ機能
　指定時刻に表示を自動的に点灯／消灯させる（手動点灯／消灯も可）
　ライト
　Ⓛボタンを押すと時刻表示部が発光する
4. 使 用 電 池：CR2032　1個
5. 電 池 寿 命：新しい電池を組み込み後約7年（ライトを1日1回使用）

表示・ボタンの説明



※この取扱説明書は各モデル共通になっておりますので、デザインが異なってもご使用になれます。

バンド調整方法

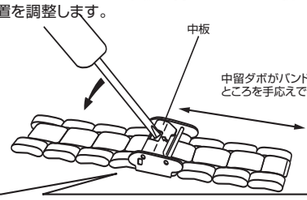
⚠ 注意

●バンド調整について

・バンド中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・バンド調整後不要になったピン、コマ等は危険ですので、そのまま放置しないで安全な場所に保管してください。
・作業を行うときは、けがや事故防止のため十分注意してください。（万一ケガ等された場合、メーカーとして責任は負いかねます）

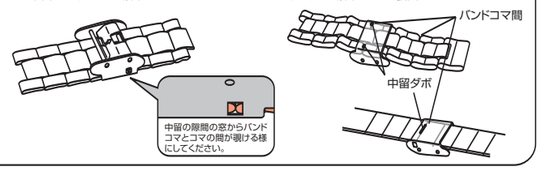
スライド式フリーアジャストバンド　（中留ダボの形状が2種類あります。）

① マイナスドライバーの様なもので中板を持ち上げます。腕の太さに合う様にスライドさせ、位置を調整します。

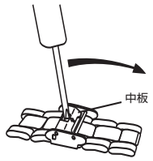


⚠ 注意　中板を固定する時は、中留ダボと、バントコマの隙間を合わせてください。中留ダボがバンドコマの隙間に入らないとはまりません。無理に中板を戻すと破損する恐れがあります。

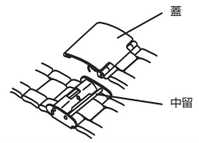
<中留めに窓がある場合>　<窓がない場合：バンド裏面>



② マイナスドライバーの様なもので中板を下げます。

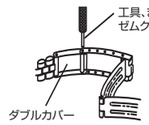


③ 留め金カバーを中留に引掛けてから留め金カバーの蓋をしてください。



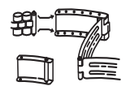
三ツ折バックル方式（ダブルカバー付）

① 長くするとき



ダブルカバーを三ツ折カバーからはずして、再び三ツ折カバーの適合した長さの位置に取り付けてください。

② 短くするとき

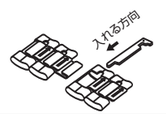


ダブルカバーを取りはずして、三ツ折カバーの適合した位置に取り付けてください。

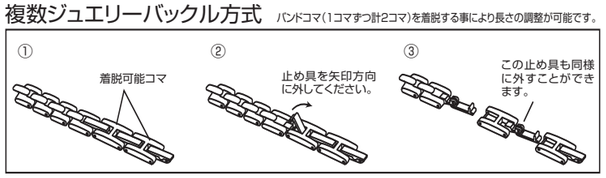
板バネ方式

① バンド裏面のアジャスト穴にドライバー等を入れてバンド刻印矢印方向にピンを抜いてください。

② 不必要なコマを取り外した後、ピンを抜いた方向の状態で、ピンを入れ戻してください。

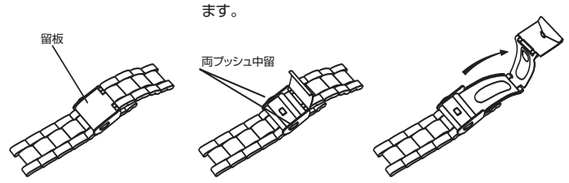


複数ジュエリーバックル方式　バンドコマ（1コマずつ計2コマ）を着脱する事により長さの調整が可能です。

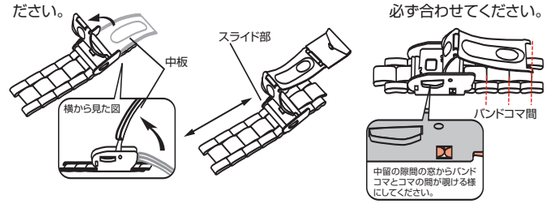


三ツ折フリーアジャストバンド

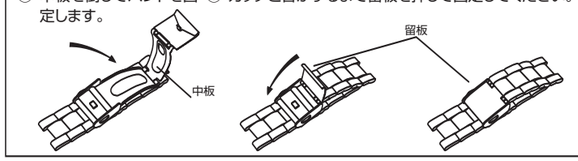
① ② 両プッシュ中留を両サイドから押して留板を開きます。 ③ 図のように開きます。



④ 中板は矢印方向に起こして固定を外してください。 ⑤ バンドをスライドさせ最適な位置に調整します。 ⑥ 中留の隙間の真ん中にバンドコマ間が入る様に必ず合わせてください。



⑦ 中板を倒してバンドを固定します。 ⑧ カッチと音がするまで留板を押して固定してください。

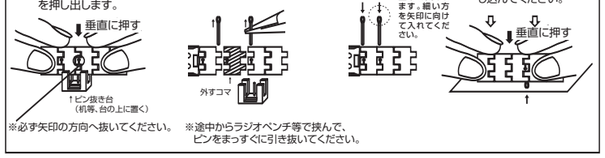


割ピン方式

① ピンをバンド裏面の矢印方向にそってドライバーの様なもので押し出します。 ② 不必要なコマを取り外した後、ピンを抜いた方向の状態で、ピンを入れ戻してください。

割ピン方式　（ピン抜き台のある場合）

① 付属のピン抜き台をバンド部調節穴に差し込み、バンドを上から押しつけ、バンドに組みこまれているヘアーピンを押し出します。 ② 外したいコマの両サイドのヘアーピンを抜き、バンドをつめます。 ③ 抜いたヘアーピンのうち1本を使い、図の方向に差し込みます。 ④ 次にバンドを上下逆にして平らな硬い台に押しつけ、ヘアーピンを差し込んでください。ヘアーピンは、確実に中まで押し込んでください。



※必ず矢印の方向へ抜いてください。　※途中からラジオペンチ等で挟んで、ピンをまっすぐに引き抜いてください。

保証とアフターサービスについて

①修理のご依頼は原則としてお買い上げ店に保証書添付の上ご持参ください。
②当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ガラス、側、バンド、文字板、針などの外装部品につきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく事がありますので、ご了承ください。
③保証期間を過ぎたものの修理については、有償にて申し受けます。また修理可能期間につきましては、ご使用の状態でいちじるしく異なりますが、部品保有法定期間に準じます。
④ご贈答、ご転居によりお買い上げ店での保証が受けられない場合は、下記シチズン時計（株）QQお客様相談室へ保証書を添えてご郵送またはご持参ください。その場合の諸掛りはお客様のご負担となります。

※ご郵送の場合は紛失などを防ぐため簡易書留をご利用ください。

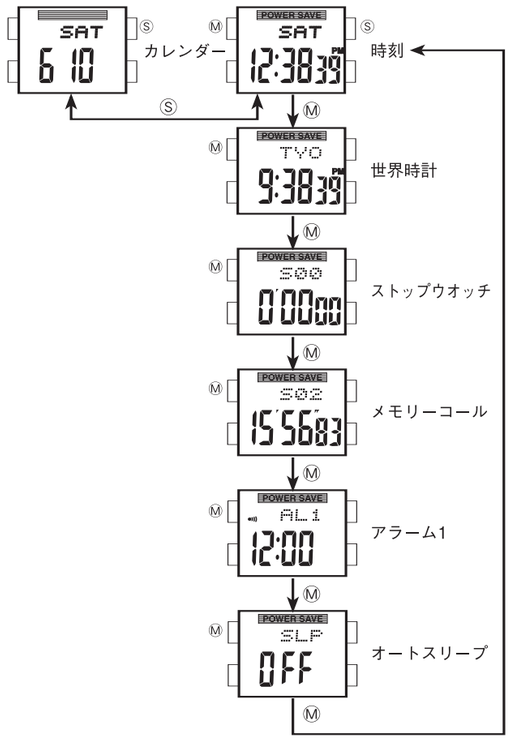
サービス窓口：**QQお客様相談室**

TEL.	**0120-977-319**
受付時間	10～12時／13～16時 月～金（祝日、年末年始を除く）
メールアドレス	qqsupport@citizen.co.jp
URL	http://qq-watch.jp

製造発売元　**シチズン時計株式会社 QQ事業部**

各モードの表示と切替え方

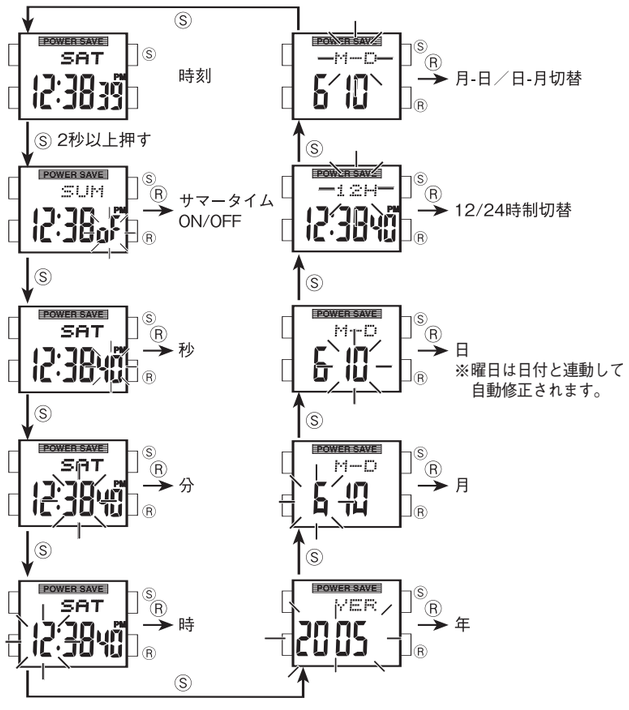
Ⓜボタンを押すと以下の順序で切替わります。カレンダーと時刻はⓈボタンを押す事でどちらにも切替わります。



時刻・カレンダーの合わせ方

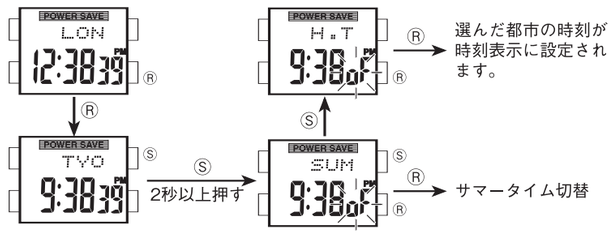
※時報サービス117番をご利用になると正確に合わせられます。
※アナログ部(時針、分針)は、りゅうずを1段引きして合わせてください。合わせ終わりましたらりゅうずをもとの位置へ押し込んでください。

Ⓢボタンを2秒以上押して修正表示にしてください。以下の順で切替わります。それぞれ数字がフラッシングしますので、Ⓡボタンを押して以下の手順であわせてください。



世界時計の選び方とサマータイムの切替え方

Ⓜボタンを押して世界時計表示にすると、都市名とその都市の時刻が表示されます。Ⓡボタンを押すと下の表の順に切替わりますので、ご希望の都市名を選んでください。その後、Ⓢボタンを2秒以上押すとサマータイムのON、OFFの切替え表示となります。この時計をご使用になっている国が、現在サマータイムの時はⓇボタンを押して設定してください。

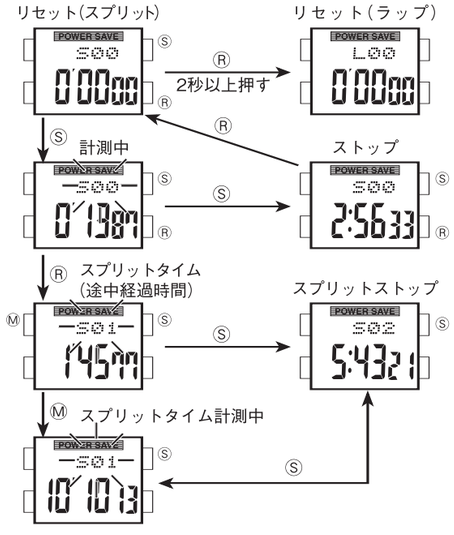


●この時計が表示する都市とロンドンからの時差

時計での表示	時差	都市名
HNL	-10	ホノルル
ANC	-9	アンカレッジ
LAX	-8	ロサンゼルス
DEN	-7	デンバー
CHI	-6	シカゴ
NYC	-5	ニューヨーク
CCS	-4	カラカス
RIO	-3	リオデジャネイロ
LON	0	ロンドン
PAR	+1	パリ
CAI	+2	カイロ
MOW	+3	モスクワ
DXB	+4	ドバイ
KHI	+5	カラチ
DEL	+5.5	ニューデリー
DAC	+6	ダッカ
BKK	+7	バンコク
HKG	+8	香港
TYO	+9	東京
ADL	+9.5	アデレード
SYD	+10	シドニー
NOU	+11	ヌメア
WLG	+12	ウェリントン

ストップウオッチの使い方

Ⓜボタンを押してストップウオッチ表示にして、以下の手順で計測します。
※計測時間は99時間59分59秒までで、以降自動的に0に戻って計測し続けます。
スプリットタイム（途中経過時間）またはラップタイム（区間経過時間）の計測とメモリーができて、最新10件のリコールができます。スプリットタイム（途中経過時間）またはラップタイム（区間経過時間）の計測の切替えはⓇボタンを2秒以上押します。（下記の説明例はスプリットタイムです。）

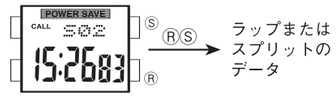


※Ⓡボタンを押すごとに、スプリットタイムまたはラップタイムとスプリットまたはラップ番号を表示します。番号は最大99まで表示でき、最新10件のスプリットタイムまたはラップタイムのメモリーができます。

リコールの使い方

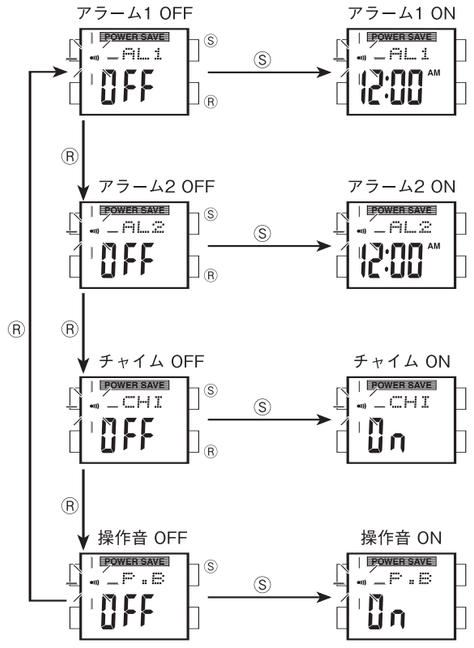
スプリット計測または、ラップ計測の最新10件のメモリーをリコールできます。

※スプリットタイムとラップタイムの両方を同時にメモリーする事はできません。

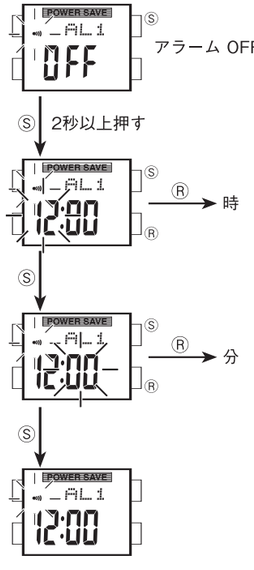


アラーム・時報・操作音の使い方と合わせ方

Ⓜボタンを押してアラーム表示にして、下記の手順で、アラーム1、アラーム2、時報、操作音（BEEP）が切替えられます。



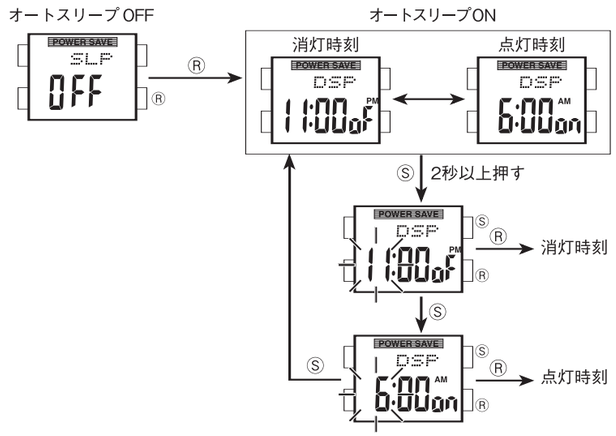
アラーム時刻の合わせ方は、アラームOFF表示にしてⓈボタンを2秒以上押した後、以下の手順で合わせてください。



オートスリープの使い方

※設定した時刻に表示を自動的に点灯、消灯させるオートスリープ機能をご利用できます。点灯、消灯いずれも時間単位で設定できます。就寝時など時計をご利用にならない時間帯に、表示を消灯させますと電池寿命を延長することができます。

Ⓜボタンを押してオートスリープ表示にして、Ⓢボタンを2秒以上押して、下記の手順で、合わせてください。

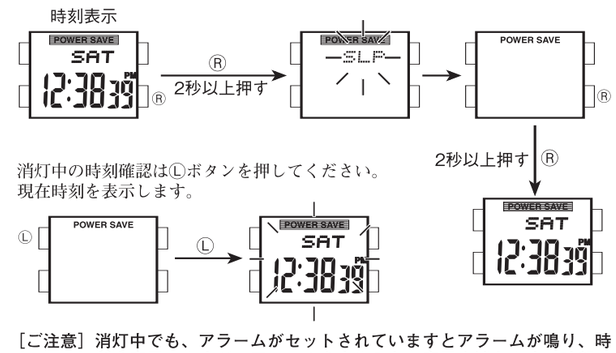


［ご注意］消灯中でも、アラームがセットされていますとアラームが鳴り、時刻を表示しますが、アラームを止めると、表示も消えます。時報はセットされていても、消灯中は鳴りません。また、ストップウオッチ計測中に消灯しますと、電池寿命延長機能が働き、ストップウオッチ計測は自動的に停止しますのでご注意ください。

表示のマニュアル消灯、点灯の仕方

※マニュアルでも、点灯、消灯ができます。オートスリープ機能で表示が消灯した後も、点灯に切替えることができます。長時間、時計をご使用にならない場合、表示を消灯させますと電池寿命を延長することができます。

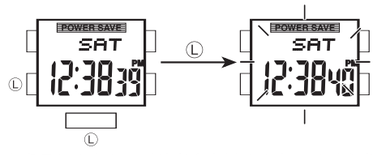
消灯の仕方はⓂボタンを押して時刻表示にして、Ⓡボタンを2秒以上押します。消灯時に2秒以上押すと点灯します。



［ご注意］消灯中でも、アラームがセットされていますとアラームが鳴り、時刻を表示しますが、アラームを止めると、表示も消えます。時報はセットされていても、消灯中は鳴りません。また、ストップウオッチ計測中に消灯しますと、電池寿命延長機能が働き、ストップウオッチ計測は自動的に停止しますのでご注意ください。

ライトの使い方

すべての状態でⓁボタンを押すと、ライトが点灯します。ボタンを1回押したときの点灯時間は約2秒です。スリープ機能作動中にⓁボタンを押しますと点灯とともに一時的に時計表示が点灯します。



※ライト照明を多用しますと、電池寿命を早めますのでご注意ください。

電池の交換

どの表示状態であっても、ライトを点灯させた時、表示が薄くなる場合は、ご使用の電池が消耗した事を表しますので、至急電池を交換してください。